



## コロナ禍で、子育てに悩まれていませんか？

コロナ禍の中で、幼稚園として子ども達の学びが続くために何ができるんだろうと考え、1週間に一度かるたやカードゲーム、絵本の貸し出しをしています。1週間に一度ですが、元気な子ども達を見るとほっとします。寒い中幼稚園に来園してくださり、本当にご協力ありがとうございます。

しかし、あと2か月で進級や入学を控えているにも関わらず、10歳未満の感染拡大が増え続け、新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、子ども達も保護者の皆様も心身ともにお疲れがでているのではないのでしょうか。



私達職員も、保護者の方々の声をお聞きしたり、子ども達の様子を見たりしながら、とても心配をしています。子ども達の学び、育ちが止まってしまう!! せっかく友達と遊ぶ楽しさを実感し、自信を深めてきていたのに・・・と。

コロナ禍の中、行動制限をされていると思いますが、悩みは一人で抱えないでください。幼稚園は教育を通して、自立に向けて子ども達の育ちを育てていますが、保護者の方の子育て支援もしています。子ども達が気になる言葉を使ったり、行動をしたりするようになった等 SOS を表出している際には、悩みを抱えないで気軽に相談してください。子どもにとってどんな援助や環境が必要なのか、保護者の方と一緒に考えていきたいと思ひます。

子どもの発達や成長にストップはかけられません!! 子どもに笑顔を!!



### 要注意

- ★生活リズムが乱れていませんか？
- ★ゲームやユーチューブ等依存症になっていませんか？
- ★言葉数がぐっと減っていませんか？
- ★笑顔がめっきり減っていませんか？
- ★いろんなことへの興味関心がなくなっていますか？
- ★頻尿・チック等 症状が出ていませんか？
- ★こだわりが強くなっていませんか？

## 私たちのひと言が、考える子に！



私の子育て失敗談ですが、私は長い間小学校の教員をしていて、多忙な日々の中で、振り返ると子どもに考えさせる言葉かけではなく、「～しよう」「～しなさい」と効率優先の親主導の子育てをすることが多かったなと思います。その子育てが子どもの自律を遅らせることになりました。

お茶の水女子大学 内田伸子名誉教授は、「初めてママの安心子育て」で次のように述べられています。

「お母さんやお父さん、周りの大人が『なんだろう?』『どうしてかな?』と質問をすることによって、子どもは自分の頭で考えます。そうして自らの力で答えを見つけることで、子どもの想像力が磨かれていきます。さらに、何かを「自分で」行い、未知のものに挑戦する過程では、自発性もついていきます。忙しい毎日だと思いますが、「大きくなったらわかるから」「さあね。お母さんも知らない」などと言って子どもの成長の芽を摘まないよう、質問しやすい雰囲気を作ってください。そして根気強く付き合ってください。時にはお母さんも一緒になって考え、答えを発見する楽しさを味わってみてはいかがでしょうか。」



今、この時が大事です。しっかりお子さんと触れ合い、時にはお子さんの目線で困り感や不思議の芽、感動を体験したいものですね。後で後悔しないためにも。

## お子さんの遊びの内容の把握を！

お家時間が増え、遊びの幅が狭まり、つついゲームやユーチューブの時間が増えていませんか。情報化社会の中で、ゲームやユーチューブに全く頼らないことは難しいと思います。上手に付き合い、子ども達の興味関心を高め、探求心につなげたいものです。そのために・・・



### 【やくそく】



- 1 家でのマイルールをつくり、だらだら見ない。(例えば、一日動画(DVD, ユーチューブ等) 1本。お休みの日は2本等 ※時間で決めると、続きが見たいので難しいです。)
- 2 保護者の方が、何を観ているのか、何が好きなのか内容を把握し、一緒に決める。
- 3 タブレットやスマホ等ではなく、テレビを使って大きい画面で見る。(保護者が子どもの興味関心、様子を把握できます。また、子どもと一緒に見ることで、家事をしながらも共感できます。)